

令和2年度 学内委員会活動 自己点検・評価の概要

I. 教育研究社会貢献等部門委員会群

1. 入試改革検討委員会

期首目標：令和3年度入学者選抜試験以降の面接試験の方法の確定、志願者確保の評価、編入学制度の検討、入学後の学生評価を実施する。

達成状況の評価：新たな面接方法を確定し、過去5年間の志願者数・志願倍率の推移について特別選抜および一般選抜別に各学科専攻の状況を整理し、志願者確保対策を実施した。また、平成28年度入学生の必修科目のGPA、国家試験合格状況、就職状況（県内・県外）について整理し、過去5年分を併せて入試選抜ごと・学科専攻別にAPに基づく選抜ができているかどうかを検討し、目標に向けた活動計画を着実に実施した。

2. 入試実施委員会

期首目標：大学入学者選抜要項・実施要領の修正案、入試実施計画、特別選抜・一般選抜試験問題を作成するとともに大学入学共通テスト・一般選抜試験を公平公正に実施する。

達成状況の評価：新型コロナウイルス感染症対策を講じながら入試準備と公正な入試実施を両立させた。入試実施委員会内および事務局との協力体制における問題点と改善策について次年度への伝達事項とした。

3. 教務委員会

期首目標：f-GPA活用による学生の自主的な学習管理および教育の質保証のための体制構築、アクティブラーニングの推進、三つのポリシーに基づく教学マネジメントの構築、ICT教育の推進と検証を行う。

達成状況の評価：f-GPA制度は本年度から運用を開始した。コロナ禍での遠隔授業の導入、非常勤講師の支援、教員・学生への情報提供など、迅速に対応し滞りなく授業を実施した。

4. FD・SD委員会

期首目標：教育研究者、大学職員としての資質向上を図るためのFD、SDの現状を検証して課題を明確にする。

達成状況の評価：FD・SDマップを作成し、これまでの講習会がどのレベルに入るか検証した結果、教育、研究、社会貢献、管理・運営の4つの項目のうち、社会貢献と教育のレベル3（複雑な事象に対応できる指導・管理能力を養う）の講習会が開催されていないことが明らかとなった。長年不明瞭であった本学のFD・SDにおける課題を明確にした

5. 学術推進企画委員会

期首目標：研究活動の活性化および外部資金獲得に向けた支援として研究能力の向上につながる講演会・セミナーを企画・実施する。学内共同研究費助成のあり方を見直し、課題とその改善策を検討する。

達成状況の評価：学内教員の研究活動の活性化に向けた計画を確実に実行し、科研申請率・採択率

の向上がみられた。科研申請率が目標値に達していない点、研究成果が学外に公表されていない点に関して、引き続き原因解明と適切な方策を検討する。

6. 学生委員会

期首目標：関係機関からの情報や学生からの要望も捉えながら、所掌事務および学生支援計画に沿った活動を行う。特に新型コロナウイルス感染拡大による学生生活への影響を把握し、例年よりも積極的な学生支援を行う。

達成状況の評価：新型コロナウイルス感染拡大状況にあっても、当初の目標とした学生支援を実行することができた。新しい生活様式における学生支援の在り方、特に課外活動に関する支援について新たな方策が必要となる。

7. 進路支援委員会

期首目標：就職及び進学への支援、県内就職の推進等に関する活動を計画的に行う。

達成状況の評価：コロナ禍において、感染防止を優先しながら進路支援事業を実施した。県内就職率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり一時的に低下した。県内就職率が著しく低い学科があるという問題点の改善が求められる。

8. 研究倫理審査委員会

期首目標：利益相反管理部会を設置し、産学官連携活動等の推進を図ることができるように、利益相反管理規程を令和2年度10月1日から施行する。倫理審査申請書のほか、倫理審査に必要な項目を明記し、「研究計画書」と「研究の参加と協力のお願ひ」について雛形を作成する。

達成状況の評価：計画通りに利益相反管理規程を施行し実施可能とした。「研究計画書」「研究の参加と協力のお願ひ」の雛形を作成し、倫理審査書類の提出時に活用できるようにした。リモートによる研究体制の整備は喫緊の課題である。

9. 国際交流委員会

期首目標：韓国 Inje 大学との交流について、次年度の交流協定延長の可否を決め、延長の場合の今後の計画案を大学運営会議にはかる。神田外語大との共同開催による「初期医療言語サービスボランティア研修」を含めた国内での国際交流活動について検討し、実施計画案を立てる。

達成状況の評価：韓国 Inje 大学との交流については協定期間終了前に交流の目的、方法を委員会として提案し、大学運営会議において協定延長の承認を得ることができた。「初期医療言語サービスボランティア研修」については、新型コロナウイルス感染拡大の状況とオリンピックの延期の影響から実施には至らなかった。

10. 図書委員会

期首目標：文献検索セミナーなどのセミナー、ガイダンスを実施し、図書館の利用促進、学生の文献検索能力向上と学生の学習、教育、調査研究に資する資料の収集・整備につとめる。

達成状況の評価：緊急事態宣言下での感染防止策を講ずることにより学生の図書館利用を継続することができた。次年度以降、感染防止策と学生の利便性の向上について両立を図ることが課題である。

11. 社会貢献委員会

期首目標：行政や関係機関等と連携し、研究成果を踏まえた公開講座や地域住民を対象とした出前講座等を充実させるとともに、ソーシャルキャピタルを基盤にした介護予防プログラム（URでのほい大健康プログラム）の実施と普及に向けた活動を行う。

達成状況の評価：コロナ禍の中でほい大健康プログラムを年1回実施できたが、公開講座の開講には至らなかった。感染症と共存する社会における本学の社会貢献の在り方について、抜本的な議論が必要である。

II. 管理運営部門委員会群

12. 自己点検・評価委員会

期首目標：教育研究年報の発行、次期認証評価機関の選定と計画立案、自己点検・評価報告書の作成、IR コンソーシアムの調査の実施と教務システムとの連動、HP への結果公表。

達成状況の評価：次期認証評価機関が「大学教育質保証・評価センター」に決定し、実施計画を策定した。教育研究年報と自己点検・評価報告書を予定通りに発行した。IR コンソーシアム調査結果と教務システムとの連動と HP 公表は未達成であった。

13. 将来構想検討委員会

期首目標：「千葉県立保健医療大学の将来に向けて」の重点施策と実現に向けた取り組み、特にシンクタンク機能強化・大学院設置の検討・学内委員会、運営組織の定期的検証・効率的な大学運営。

達成状況の評価：シンクタンク機能に関する「保健医療大学取組報告会」の実施と、各委員会活動の自己点検評価の導入が実現した。学長直属 WG によるプロジェクトは実現しなかった。

14. 総務・企画委員会

期首目標：魅力ある学習環境の整備の促進に向けた検討に向け、予算要求（令和3年度）、学内施設整備に関する教員アンケート調査および学生の卒業時調査を実施する。

達成状況の評価：令和3年度予算要求の優先順位付け、令和4年度予算要求以降の教育用備品予算要求サイクルを確定した。教員アンケートを実施し、学生アンケートはIR部会に依頼した。

15. 広報委員会

期首目標：広報に関する現状の課題を抽出し、課題解決のための方策を策定する。

達成状況の評価：写真撮影の予算がない、Google Analytics が実施できない、広報担当事務が不在、大学案内の発注方法と業者の指定等の課題が抽出された。

16. 危機管理委員会

期首目標：災害以外の危機に対応するためのマニュアル作成、防犯カメラの設置・運用、防災訓練の実施。

達成状況の評価：COVID-19 対策が活動の中心となった。COVID-19 対策会議を設置し、在校生の現状把握、対面授業の基準・方針の策定等を行った。防災訓練の実施と防犯カメラの2台運用

が実現した。マニュアル作成は未着手となった。

17. 人事委員会

期首目標：教員の採用方針、教員組織の編成方針の明文化、教員組織の定期的検証方法の決定、大学組織の検証体制の検討。

達成状況の評価：教員の採用方針、教員組織の編成方針、定期的検証方法を決定した。大学組織の検証体制の検討は未実施となった。

18. 教員再任審査委員会

期首目標：教員再任審査の審査方法に準じた適正な教員再任審査の実施

達成状況の評価：適正に教員再任審査を実施した。審査対象者の記載が不十分である場合は所属学科の委員に意見を求め審査の適正を判断した。

19. キャンパス・ハラスメント防止対策委員会

期首目標：キャンパス・ハラスメントに関する調査、啓発・防止を目的とする講演会・研修会の実施、規程やガイドラインの見直し。

達成状況の評価：Formsによる調査を実施したが結果公表は次年度となった。教職員対象に「キャンパス・ハラスメントミニ研修会」を実施した。規程やガイドラインの見直しは次年度に継続となった。